

【消費量】

(1) 2月家計消費

	金額前年比	数量前年比	単価前年比 (%)
牛肉	97.9↓	93.4↓	104.8↑
豚肉	103.5↑	104.9↑	98.7↓
鶏肉	108.8↑	113.0↑	96.3↓

○牛肉消費は低迷し、所得低迷（実質賃金23ヶ月連続のマイナス）、物価高騰の影響が出ていました（総務省家計費調査、Reuters）。

(2) 2月小売り売上（牛肉）は、所得低迷、食品値上げによる需要減がベース、節約志向による買い控えが強く、苦戦、単価の安い鶏肉に比べ牛肉・豚肉の動きが鈍くなっています（日本チェーンストア協会）。

(3) 2月の外食の「焼き肉」は、引き続き食べ放題業態の好調と観光地のインバウンド増で、売上114.4%となっています（（一社）日本フードサービス協会）。

【牛肉輸出量】2月も、前月に引き続き前年比増です。単月数量合計は694.529 t（前年比108%）で単月金額合計は47億3380万円（前年比110%）でした。輸出数量が多い（輸出計に占める割合、括弧内数量は前年比）のは、アメリカ合衆国28(228)%、台湾16(109)%、香港15(85)%、タイ11(64)%でした（財務省貿易統計）。

【3月枝肉相場（速報）】（東京市場、税抜）

	単価（円/kg）	前月比 (%)	前年同期比 (%)
A-5	2,324	97.4↓	97.4↓
A-4	2,014	96.4↓	96.4↓
A-3	1,851	97.2↓	101.1↑
A-2	1,465	84.4↓↓	91.9↓↓

和牛は、依然として食品インフレや所得低迷による国内需要（家計消費）が低迷しています。併せて、肉仲卸は決算期を迎え不要在庫の調整で引き合いが少なくなっています。インバウンド需要（外食）は徐々に復興しているようです（外食>家計）。

【4月の見通し】主な相場影響要因（プラス）：インバウンド・新年行事需要の増、5月連休用の仕込み、（マイナス）：実質所得低迷と4月食品一斉値上げによる需要減退を睨んだ和牛は保合相場展開と考えられます。

事 | 業 | 関 | 係 |



◆ R02現検（後期）枝肉調査終了！（肉牛）◆

令和2年度後期候補種雄牛の現場後代検定調査牛のすべての枝肉調査が終了しました。このあと、枝肉成績の入手・集計を行います。種雄牛別の枝肉成績については、ホームページに掲載しています。

枝肉調査概要は[こちら](#)

◆ R 0 4 現検（後期）検定調査牛導入実施中！（肉牛）◆

令和4年度後期候補種雄牛の現場後代検定調査牛について、4月上旬より各肥育委託農家等への導入を開始し、5月24日まで実施します。関係者の皆様におかれましては、検定調査牛の個体確認等ご協力の程よろしくお願ひいたします。なお、遺伝子型検査（親子判定）は実施済みか今一度ご確認をお願ひいたします。

◆ R 0 5 現検（前期）検定調査牛（肉牛）◆

令和5年度前期候補種雄牛の現場後代検定調査牛はおおむね令和6年1～3月に生産されました。関係者の皆様におかれましては、検定調査牛の日齢に見合った発育をすよう良好な哺育・育成管理をよろしくお願ひいたします。また、雄子牛の去勢は、おおむね生後4カ月齢までに確実に実施するようよろしくお願ひいたします。

令和5年度前期候補種雄牛名簿は[こちら](#)

◆ R 0 6 現検（前期）調整交配実施中！（肉牛）◆

令和6年度前期候補種雄牛13頭の調整交配を4月1日より開始しました。交配期間は6月14日までです。関係者の皆様におかれましては、調整交配協力雌牛全頭への交配をよろしくお願ひいたします。

令和6年度前期候補種雄牛名簿は[こちら](#)

◆ 候補種雄牛の登録番号（肉牛）◆

3月28日に当団ホームページをリニューアル公開しました。今回のリニューアルに合わせて、候補種雄牛名簿の作成時に登録番号でご案内した候補種雄牛について、登録番号が分かりしだい、ホームページに掲載するように改善しました。

候補種雄牛のページは[こちら](#)

発行元：一般社団法人 家畜改良事業団
サイト：<<http://liaj.lin.gr.jp/>>
メール：<webmaster@liaj.or.jp>
電話（代表）：03-5621-8911

X(旧Twitter) https://twitter.com/liaj_official

Facebook <https://www.facebook.com/liaj.official/>

YouTube https://www.youtube.com/channel/UCiCLAzAj_VczFS1zrFuT-fQ

★このメールマガジンにはファイルは添付されていません。